



児童ら創作劇 温泉客笑いの渦

福井

福井市中手町の伊自良温泉休憩所で十六日、地元の民話を基にした児童らによる創作劇が披露され、湯上がりの客に笑いを巻き起こした。

児童たちは廃校になった旧上味見小学校を拠点にしたキャンプに参加している。関西方の十歳から十三歳までの十五人で、学習の総

まとめとして演劇に挑戦した。

児童らは五人一組で民話の舞台である神当部町をマウンテンバイクで巡り、住民に取材。途中、地元で活躍する劇団「ババーズ」との交流を通し、民話の続きとして十五分ほどのコメディに仕上げた。

劇に参加した京都在住の堀田静音さん(二〇)は「見に来る温泉客の人に笑顔になってほしかった。自分も楽しかった」と満足に話した。劇を見た帰省中の宮崎幸雄さん(四七)は「おもしろかった。自分たちで地域の人にインタビューして劇をつくったのがすごいと思った」と感心していた。

児童らによる創作劇「きゅうり」を披露する児童たち。福井市中手町の伊自良温泉休憩所で。

(西本円)



発行所 中日新聞社

名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811